

2



手書
丸
丸

新長

大東亞戦争関係衛生史編纂資料

終戦直前分

十一月分

第五十八師團

陸
軍

(納谷勇・京東)

0270
0271

2

第

七

書
名

終
戦
道
前
分

加

三

表

終戦前より十月分迄録

第五十八師團

終戦道前分
十一月分

軍

(納谷真・京東)

0270
0271

大東亞戰況報告 陸軍省資料部 編纂 第一一八師團

一師團行動ノ概要

師團ハ高橋師長ニ集結宿營シ當地ニノ警備ニ任スルト共ニ復員準備職業
業輔導等休力氣力ノ増進等復員準備ニ邁進シアリ又一部馬返送
應務九戰区ノ各師ハ勤務セリ

二衛五部員勤務ノ状況

小崎軍醫大尉以下軍醫四衛士下士官一〇馬返送要員衛士勤務トシ
テ中國側ヘ勤務ス

三主要疾患及患病ノ状況

主要疾患トシテハ以然マラリアノ發症多ク脚氣感胃腸疾患此レニ次ギ
入院要人ル患者ハ僅少ナリ
主要疾患左表ノ如シ

主要ナル疾患	患者總數	入院患者數	摘	要
マラリア	六七一	一二	就業以上トス	
脚氣	二四三	四		
胃腸疾患	八三	一一		
感冒	五八			
其他時疫症	一〇一	八		
其ノ他	一五〇	四七		
計	一三〇五	七七一		

四衛主材料ニ於テ

又時時衛生材料ノ携行セシ物ヲ中隊側ヨリ借用シ使用中ナルモ区別難シ
ラ損慮シ重責的ニ使用スル外殊メテ節用再製ニ努メリ

五保費

の厳正ナル内務ノ履行ト保費支給トノ適切ト相付ケテ兵員ノ体力ハ行
動間ニ比シ増加ノ傾向ニアリテ一般的ニ良好アリ也各隊ニ務兵隊ヲ

(精谷貞・東京)

0273

編成シ休養給餌養ノ合理化兵業ノ調和ヲ計リ漸進的ニ運動教育ヲ實
施シ体力ノ向上ヲ計リ又入浴場ヲ設置シ身体ノ保濟疲勞回復ノ圖セリ
防疫

住民ト同居シ衛生上不利ナル環境下ニ糞物資材ノ絶ニスルニ儘ニ衛生
軍紀ノ向上ニ努メルト共ニ防疫巡察ヲ實施シ住民ヨリノ傳染病ノ復ヘノ防
止スルト共ニ被服臭汗消毒等ヲ徹底シ野氣ノ徹底ヲ圖リ又被服被具
ノ日光曝干含殺ノ勵行等ト相待テ防疫ノ萬全ヲ期セリ

給養ノ状況

主食副食共中國側ヨリ受領シ公正ナル分配ニ依リ概不足量ニ達シ給
リレ敵軍調理法ノ研究ヲ行フ等諸種ノ手段ヲ盡シ養價ノ向上ヲ
圖リ又現地自産ニ依リ豆腐味噌ノ製造ニ着手セリ

宿營地ノ状況

師團ノ大部ハ土民ト同居ヲ行ハル關係上銳意創意ス又シ全シキ
資材ヲ以テ改修補強ニ馳勉メテ結果防疫防寒死没ニ比較的良好ナル

環墳ノ域ニ到レリ

五、接收ニ關スル涉外事變

ナシ

六、内地帰還ニ任衛生諸般ノ處置

ハ 自給自給對策

藥物ノ補給困難アル現況ニ依リ、驅虫劑、ビタミン劑、救急膏類ノ作製使用シ、
又、ガ―ビ卷軸帶ノ再製使用等、自給對策ヲ考顧セリ

四、一般傷病傳染病ノ発生及治療狀況

師團診療方針ニ依リ、入夜ハ一ヶ月以上治療ヲ要スル患者ニ止メ、努ムラ、隊
治ニ免ノリ

カ、マラリア、恆疾患者ニ對スル處置

マラリア患者ハ、検察ヲ實施シ、陽性者ノ摘ムル努メ、陽性者ノ徹底的
治療ヲ實施セリ

性病患者ハ、入夜、ヒシメ、徹底的治療ヲ實施シ、マアリ

(續谷典・京集)

0275

患者ノ轉後送

解圍診察方針ニ依リニヤリ以上要治療者ハ解圍野戰病院ニ三ノ月以上治療ヲ要スル者ハ同勤事人ハ代艦ニ依リ小池口兵站病院ニ後送ノ行ハリ
轉後送ノ數左表ノ如シ

入 院 後

送 附

要

一六三

一三

小池口兵站病院ニ後送ス

検査

マリアア患者ノ尿虫検査ノ結果施行ス

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(納谷貞・京東)

0277

第長

第

中
第
第

五八師團附録 三三三



陸軍

本軍進駐中 關係待生史 師團附録

終戦後 湖北省
十月五日 附録

第五八師團

一 師團行動ノ大要

師團ハ廣西者全縣ニ於テ停戦ノ大詔ヲ奉體之切ノ對敵行動中
止シ炎熱燄ノ如キ天候下 僅水結地ニ向ヒ分進ス十月七日江南省九江
ニ到着兵器濃度ヲ行ヒ僅水結地湖北省黃梅縣附近ニ僅水結ヲ完
了シ駐留休勢カニ入レリ

二 衛生部員ノ行動

田ノ上藥劑大尉藥物受領並ニ漢口殘置烟包整理ノ急先ノ行又

三 主要疾病及患者ノ狀況

冬熱ノ天候下連日ノ急行軍ヲ續行マシニ依リ軟傷、腸病、多發ヲ見
タリ又疲勞ノ蓄積ト給養ノ不良トニ基因シ「マラリア」脚氣急性
腸炎ノ多發ヲ見タリ

0278

四 衛生材料ニ就テ

行動間ハ患者ノ多登ヲ見タリシモ後方機関ノ依託ニ依リ材料ノ消費
少ク且若干ノ補充アリシ関係上、マラリアノ前ゴツミン剤ノ外不足ヲ感シ
ザリキ

五 其ノ他

ハ 保養

集結行軍途中ヨリ弱兵隊ヲ猶成シ列車ニテ輸送スル外各隊團ニ自
動貨車ヲ配属シ行軍不能者特ニ疲勞甚シキ者ヲ輸送シ体カノ
消耗ヲ防止セリ

駐留地到着後ハ兵ノ体カノ疲勞甚キ爲感冒性疾患ノ予防ニ重
要ヲ置キ体カノ積極的練磨ヲ圖リ休養乾布磨擦吟嗽ノ励行等
實施シ体カノ回復ヲ期セリ

(2) 防疫

師團ハ進攻作戦時コレラノ發生流行地ヲ通過スルニ際シ水生生物

(續谷奥・京東)

ノ飲食ヲ嚴ニ禁止スル共ニ行動際湯茶ノ補給ヲ充分ニテス如ク指導シ傳
染病ノ發生ニ萬全ヲ期セリ駐留地ニ到着後ハ各隊炊事場ノ浴場厠
等ヲ設置シ糞尿ノ保清ヲ期ス且高度巡察ヲ實施シ上國ノ防戍
指導哨隊ノ爲メニ努カメリ

(3) 給養食ノ状況

行動間ノ給養食ハ主食ハ粳調ニ交付ワレシニ副食ハ肉類ニ乏野菜ノ量僅少ナ
リキ駐留地ニ入りテハ主食割食共粳調ニ交付ワレシニ副食ニ於テ亦分トハ言
ハレ爲獸ニ調理法ヲ指導シ給養食ノ向上ニ努カメリ

(4) 宿營地ノ状況

駐留地到着後マテハ市民家屋ヲ利用シタル宿營場ノ入り困難ニ依リ土階ヲ使用スル
コト多カリキ駐留地ニ入りテハ部隊ハ概シテ自衛團的ニ宿營シタルモ大部分ハ民
家ヲ利用シ市民ト同居ニシテ護營ニ困難ヲ感シタルモ中圍側ト交渉シテ民
ノ諒解ヲ得テ冬營準備ヲ改善セリ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(納谷奥・京東)

0281